

第59回 全国小学校家庭科教育研究会 全国大会
京都大会開催に関わる
新型コロナウイルス感染症防止の対応について(ガイドライン)

全小家研 全国大会 京都大会実行委員会事務局

主催者、大会役員、参加者など全ての関係者は、このガイドラインに従い行動し、感染リスクを最小限に抑え、本大会からクラスターを発生させない体制を整備し、全小家研 全国大会 京都大会を開催していく。また、このような状況の中での大会開催は、主催者・運営サイドだけでなく、参加者の協力なしには感染リスクを最小限に抑えた大会運営は難しい。

本ガイドラインを周知した上で、大会に関わる全ての人に協力と対応をお願いしたい。

全小家研 全国大会 京都大会実行委員会事務局内に新型コロナウイルス感染症対策室を設置する。メンバーは、京都大会長 実行委員長 副実行委員長 事務局長 総務部長 運営部長 広報部長 研究部長 財務部長（各 1 名）とする。適宜、福知山市教育委員会、京都府教育委員会、京都府小学校教育研究会と連携する。

1 【新型コロナウイルス感染拡大による大会中止決定の基準】

- (1) 緊急事態宣言、まん延防止措置が発令され、府県をまたぐ移動が制限された場合
- (2) 福知山市でのイベント開催の自粛指示があった場合
- (3) 医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応不可となった場合
- (4) 大会運営に係る者（役員及び研究協力校の職員・児童等）に新型コロナウイルス感染症陽性者が多数発生し、大会運営に支障を来す場合

2 【感染症感染拡大の危険性が高い場合の措置】

- (1) 大会の一部中止及び開催方法の変更
 - ① 前日の全国理事会・情報交換会の中止
 - ② 授業公開の中止（公開授業や全体会の録画、後日の動画配信）
 - ③ オンデマンド配信の実施

3 【新型コロナウイルス対応の基本方針】

- (1) 体調管理シート<資料2>の当日提出、事後観察
- (2) マスクの着用
- (3) 検温実施
- (4) 手指消毒・手洗い
- (5) 3密（密閉・密集・密接）の回避
- (6) 換気（できる限り）
- (7) 感染防止対策に関わる注意喚起の掲示

4 【会場校における対応】（大会前日まで）

- (1) 児童に感染者が出た場合
 - ① 学級に3名以上の陽性者があるときは、学級閉鎖とする。
 - ② 当該学級の授業公開は中止とする。
 - ③ 他の学級は授業公開をする。

- (2) 担任(指導者)に感染者が出た場合
 - ① 当該学級の授業公開は中止とする。

- ② 他の指導者による授業公開はしない。
- ③ 他の学級は授業公開をする。

(3) 担任以外の教職員に感染者が出た場合

- ① 授業公開を実施する。

5 【感染症予防施策】

(1) 全対象共通の感染症予防措置

場所/状況	目的	対策実施項目
受付時	飛沫・接触回避	・入場時に正しいマスク着用確認を行う。
	検温	・非接触型体温計を使用して 37.5℃以上の発熱がないか確認する。
	消毒・除菌	・手指用アルコール消毒液を準備し、手指消毒を行う。
	水際対策	・体調管理シートを受付時に提出してもらい、入場の可否判断を行う。
参観時	換気	・授業公開・全体会会場は、可能な限り窓を開け換気する。
	3密の回避	・ソーシャルディスタンスを保つよう、アナウンスする。 ・感染防止対策に関わる注意喚起の掲示
昼食時	飛沫・接触回避	・飲食時は会話をしない。
		・昼食場所の換気を行う。
	消毒・除菌	・手指用アルコール消毒液を準備し、手指消毒を行う。
	3密の回避	・ソーシャルディスタンスを保つよう、アナウンスする。 ・感染防止対策に関わる注意喚起の掲示
大会終了後	水際対策	・大会終了後2週間、ていねいな体調管理を行い、体調不良等がある場合は、「府小研 研究大会・2年次協議会において新型コロナ感染者が判明した場合の対応について R3.9.8」に従い対応する。

(2) 大会関係者、役員の感染症予防措置

場所/状況	目的	対策実施項目
事前の準備	水際対策	・新型コロナウイルス感染症対策室（全小家研 全国大会 京都大会実行委員会事務局内）を設置する。（体調管理シートの管理、感染症予防が이드ラインの周知・徹底）
設営／撤去	水際対策	・体調管理シートを受付で提出し、参加の可否の判断を行う。
	飛沫・接触回避	・マスク着用を基本とする。
	消毒・除菌	・作業前後に手洗い、手指のアルコール消毒を行う。
受付	水際対策	・体調管理シートを役員受付で提出してもらい、参加の可否の判断を行う。 ・受付担当の役員は、マスクの着用を原則とする。 ・受付を待つ列ができた場合は、ソーシャルディスタンスをとるようにアナウンスする。
救護	飛沫・接触回避	・フェイスシールド、使い捨て手袋を準備し、適宜利用する。 ・ケガ、体調不良の場合は、救護で応急対応は行う。 37.5℃以上の発熱者が出た場合は、隔離して待機させ、帰宅を促す。

(3) プレス関係者への感染症予防措置

場所/状況	目的	対策実施項目
受付	水際対策	・検温チェックをし、体調管理シートに記入し、提出する。
	飛沫・接触回避	・受付担当者は、マスクを着用する。
	3密回避	・報道関係者は、入場時に腕章等目印を付ける。
撮影	飛沫・接触回避	・取材時の正しいマスク着用を徹底する。
	3密回避	・撮影エリアは特に設けない。

6【運用計画】

(1) 体調管理シートの運用

・チェック項目

- ① のどの痛みがある
- ② 咳が出る
- ③ 痰が出たり、からんだりする
- ④ 鼻水が出たり、鼻づまりがあったりする
- ⑤ 頭が痛い
- ⑥ 倦怠感がある
- ⑦ 発熱の症状がある
- ⑧ 息苦しさがある
- ⑨ 味覚異常
- ⑩ 嗅覚異常

・入場・参加をお断りする判断基準

- ① 4日以内に37.5℃以上の発熱が認められた場合
- ② 4日以内に1つでもチェック項目に該当がある場合
- ③ 明らかに体調不良が確認できる場合
- ④ 当日、会場検温で37.5℃以上の発熱が認められる場合

・全小家研 全国大会 京都大会実行委員会事務局が全てを集約し1ヶ月程度で保管・廃棄する。

(2) 感染症防止対策に関わる注意喚起の掲示

- ・マスクの着用、ソーシャルディスタンス、手洗いか手指のアルコール消毒 等

(3) 消毒・除菌対策

- ・手指用アルコール消毒液、アルコール除菌シート、ペーパータオル、不織布マスク、使い捨て手袋、フェイスシールド、非接触型検温計

7【発熱等の場合に対応できる主な連絡先】

(1) 発熱症状などのある方は、最寄りの医療機関にお問い合わせください。

(近隣の診察・検査医療機関一覧は、右のQRコードより見られます。)

(2) 休日・夜間などで相談できる医療機関がない場合は、「きょうと新型コロナ医療相談センター」に相談してください。(24時間対応)

電話:075-414-5487



(3) その他、緊急の場合は、救急車をお呼びください。

令和3年9月8日

研究大会において新型コロナ感染者が判明した場合の対応について

京都府小学校研究会

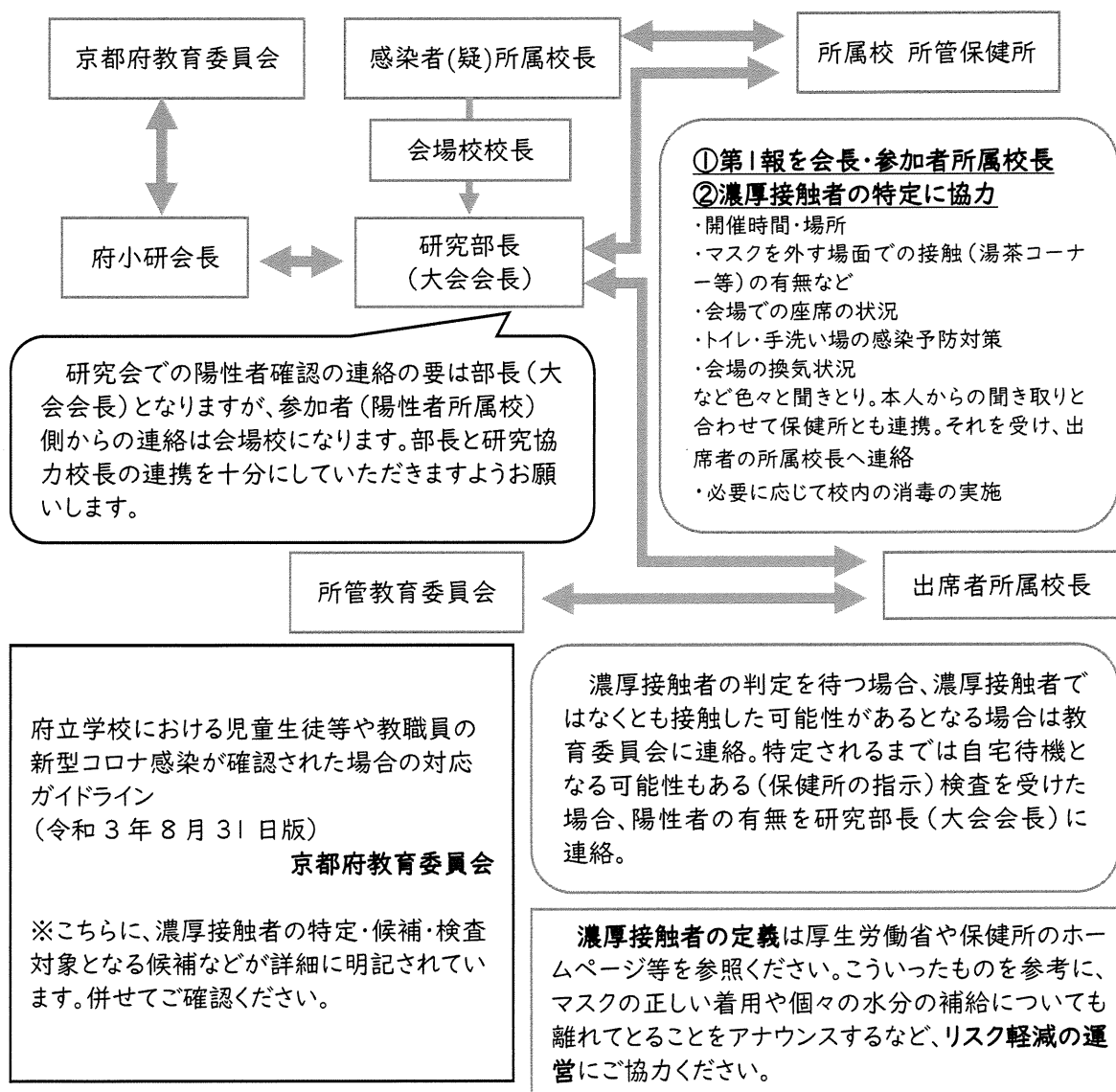
ガイドライン改訂版に従った運営をしても感染リスクが0とはならないことを踏まえ、大会関係者に感染者が判明した場合について次のような連絡体制をとりたいと思います。

この対応が必要な時

大会開催日より2日以内に感染者が出た場合（症状が出た日・判明した日ではない）

※翌日から発熱、2日目に受診、5日目に陽性判定などの場合はこれにあたるので注意

こういった場合、連絡は参加者が2日以内に発熱で休んだのであれば、その日のうちに一報いれてもらうと、準備ができ、迅速な対応に繋がるため協力願えるとありがたい。



研究大会後の罹患や体調不良の報告について

上記対応は、京都府小学校教育研究会のガイドラインです。府外の先生方も基本的には所属校校長を通じて報告してください。

教職員、教育関係者以外の方は、直接会場校にご連絡ください。